

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 希望の泉

作成日: 令和3年8月10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成、変更時において、どうしても現場と家族の意向を主に行っている。利用者の気持ち、思い、意向が汲まれるべきものであるが、なかなか、発言されることもなく、また、現場も意向の聴き取りに時間を割くことができない状況である。	介護計画があるだけの物にならず、現場、家族、そして何より、利用者の意向を重視できるものであり、かつ、関わる者たちの指針となるようなものにしていく。	定期的なモニタリング、アセスメントを行うとともに、常に利用者が何を思い生活されているかを考えながら職務にあたる。また、職員会議時に各計画についての、ミニカンファレンスを行う。	12ヶ月
2	35	災害対策として、訓練の実施、地域との防災連携に取り組んでいるものの、体制に不備有。特に停電時に対する対策が不十分であるので、停電時の対応を整備する必要がある。	停電時対策(終日)の整備を図る。	停電時対策として、自家発電装置はポータブル電源の購入にて、対応する。また、夜間の停電時の対応として、ランタンの設置及び、ヘッドライトの購入を行う。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。